

## 第2回盛岡市学校給食懇話会 会議録

### 1 開 会

### 2 協 議

#### 会議の公開・非公開について

会長	<p>まず初めに、前回皆様に協議いただきました会議の公開・非公開の取扱いについて、皆様既に御承知のとおり、非公開としたことにつきまして、様々な御意見を頂戴しているところでございます。そこで、前回2度に渡り御協議していただき全員一致で非公開とする決定を行ったところでございますけれども、改めてお諮りしたいと思います。</p> <p>まずは、市の審議会等の会議の公開に関する指針について改めて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 豊岡部長	<p>お手元に配布しております。審議会等の公開に関する指針を御覧いただきたいと思います。</p> <p>第1の趣旨ですけれども、この指針は審議会等の会議の公開に関する基本的な事項を定め、市民に対して審議会等の会議の状況を明らかにすることにより、市民の市政への理解と信頼を深め、もって公正で開かれた市政の推進に寄与することを目的とするものでございます。それを受けまして会議の公開の基準ということで第3に定めてあります。審議会等の会議は、原則として公開するというところで、第1の趣旨を踏まえて原則公開としています。例外の規定がございまして、(1)、(2)に該当する場合は当該会議を公開しないことができるという風に定めてございます。1つ目は盛岡市情報公開条例第7条各号に掲げる情報に該当すると認められる事項について審査、審議を行う場合。(2)といたしまして公開することにより審議会等における当該会議の円滑かつ公正な議事運営に著しい支障が生ずる恐れがある場合でございます。情報公開条例のほうを御覧いただきたいと思います。第7条各号に5つの項目が定められております。1つ目が法律等の規定により公にすることができないと認められる情報。(2)としまして個人に関する情報。(3)として法人その他に関する情報。(4)といたしまして市の機関等におきまして、内部又は相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの。(5)といたしまして、市の機関等の事務又は事業に関する情報であって、公にすることで事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるものということで、条例では5つの</p>

	<p>項目に該当する場合には非公開とすることができると定めているところであります。</p> <p>事務局として検討いたしました結果、前回、自由な発言の妨げとなるということで、非公開となったわけですが、指針、条例等を検討した結果、公開しない理由に当たらないというふうに考えているところでございます。</p>
会長	<p>ただいま、事務局から改めて説明がありました。今回公開に関する指針や条例等も出していただきまして理解が深まったかと思えます。前回は会を公開することによって発言の妨げになるおそれがあるとして非公開としましたが、原則公開というようなところもございいますので、改めて公開、非公開につきまして皆様に御意見をいただきたいと思えます。</p> <p>→ 意見なし。</p> <p>御意見が無いようですので、市の説明の趣旨を汲みますと、公開となるかと思えますけれどもよろしいでしょうか。</p> <p>→ 異議なし。</p> <p>それでは、公開ということで進めさせていただきます。</p>

(1) 「学校給食に関するアンケート」について

事務局から資料に沿って説明 → 質問等なし。

(2) 中学校給食について

事務局から資料に沿って説明

会長	<p>アンケートの結果も踏まえながら、御意見をいただけたらと思えます。そこで次第のほうに協議のポイントが示されておりますので、これに沿って進めてまいりたいと思えます。はじめにポイントの1の「現在、中学校3校（仙北、大宮及び北陵）がミルク給食となっていることについて、どのように考えるか。」について、御意見をいただければと思えます。</p>
副会長	<p>資料2の時間割についてですが、仙北中に通う子供が給食を食べる時間が少ないという話をしており、資料を見ると仙北中、大宮中は40分間、北陵中は45分間になっていますが、他の学校を見ると60分や50何分と多く確保している学校がありますけど、時間が異なるというのは、時間割を各学校が定めているからでしょうか。</p>
事務局 遠藤係長	<p>時間割については各学校によって定められております。</p>
副会長	<p>私の中学校の先生にも聞くと、この時間帯で給食になると非常に時間がタイトになるという話が出ました。実際に仙北中の40分間で給食を導入するとなると、休み時間も無くなり、大宮中も同じく40分間、</p>

	北陵は45分ですが、これを見ると下橋中なども40分間で自由選択方式を実施しておりますが、学校が時間割の割り振りを考えているということでしょうか。
会長	学校ごとに時間割、給食時間を立てております。先ほどの、資料の14ページにもありますように、文科省の記事によりますと、食べる時間と後片づけが終わるまでの時間は、中学校で45分程度と示されているようですので、これをもとに各学校で時間割を決めています。
副会長	中学校の昼休み時間の45分の中で、給食をとるというのは時間的に十分ではないという認識でよろしいですか。
事務局 遠藤係長	配膳時間と下膳時間を含めると、時間的になかなか厳しいというところがありますので、やはり給食方式が変わることによって時間割について見直しいただかなければならない部分はあると思います。 教職員を対象としたアンケートの結果においては、時間の部分を気にしているというような回答を多くいただいているというのが現状でございます。
会長	時間のところは、その他のところでまた協議していただくこととし、まずは、中学校3校のミルク給食についてどう考えるかというところですが、本日委員として市の中学校長会を代表しまして千葉校長先生にも出席していただいておりますので、大宮中学校ではこのミルク給食がどのような状況なのか教えていただきたいと思います。
委員	実施校の拡大ができない理由として、引き受ける業者がないということなのですが、選択制給食を未実施の学校としては、選択の余地がないということで、市内で条件が揃っていないことは、望ましくないのかと思います。 逆に、全員がお弁当であることで楽な部分もあります。事前注文や注文変更等の事務負担が無いことや、外出する行事などの際には、その子だけ先に食べさせることができるという良さはあるんです。しかし、保護者の意見を聞くと、選択の余地がないということは、困るかなというところはあります。
会長	先ほどのアンケートの結果でも、保護者の方が給食を望んでいる割合は多いようではございますけれども。その他、このミルク給食になっていることについて、委員の皆さまから御質問、御意見はありませんでしょうか。
委員	未実施校の3校の話が出ましたが、3校だけの結果というのはどうなっているのでしょうか。
事務局 白石主幹	《資料8ページを示して説明》

<p>会長</p>	<p>そうしますと、未実施校の生徒につきましては、同じ給食が全員に提供される方式と、選択方式が半々の割合でありますし、保護者の方は、全員同じ給食が提供される方式を望んでいる割合は多いというような実態のようでございます。</p> <p>他に御質問等がなければ、次に2の盛岡地域の中学校給食の実施方法はどの方法が良いかということについてですけれども。(1)から(3)までアンケートにも出ていますけれども、委員の皆様のお考えをお聞かせ願いたいと思います。アンケートの結果を見た感想でも構いませんので。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の14ページですけれども、今のランチボックスの実施状況とありますが、利用率の算出方法が1回以上申し込んだ生徒をカウントしているということは、実際はもっと少ないのでしょうか。例えば1日平均何割くらいの生徒がランチボックスを利用しているかといった時に、大雑把な計算で大変恐縮なのですが、28年度と29年度は約17万食を提供しておりますので、年間の提供日を170日とすれば、1日当たり1,000食のランチボックスを利用している計算になるかと思えます。これを全校生徒で割ると、10校の生徒数がわかりませんが、生徒総数分は1日平均当たり大雑把に1校当たり100食とした場合、三分の一あるいは五分の一となり、資料の数値より相当少ないかと思えますがいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 遠藤係長</p>	<p>いわゆる供給率というもので我々は把握しているものですが、全員が注文した数について当然この数値を下回るとというのが現状になります。あくまでも、1回でも申し込んだ生徒数をカウントしていることになりますので、5%から6%はこちらの数値から下がるということになります。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、2割から3割程度ということですね。そうすると、7割から8割は選択制の学校でもお弁当を持ってくる子の方が多いということですね。</p>
<p>委員</p>	<p>私は今回、保護者としてこのアンケートに答えましたが、結果を見ますと、子供は意外と選択制給食よりも、お弁当の方がいいんだなという認識です。私の子供は選択制給食の実施校に通っておりますが、ランチボックスを頼んでいる生徒はほんのわずかです。子供の認識では、給食よりお弁当がいいのだと、保護者の意見は給食がいいとグラフからとってわかります。保護者としての意見を言わせていただければ、断然私たちは給食を望んでいます。なぜかという、一番は保護者の負担と思われるかもしれませんが、高校生になったらお弁当は作らなければいけないものですから、それは別に問題ではありませんが、やはり成長盛りの中学生にとって家庭のお弁当が果たして栄養価を満たしているかと。毎日お弁当を作っている私には自信がありませ</p>

	<p>ん。というのは、昨日の残り物を詰めて、冷凍食品を入れ、赤色が足りないと思ってミニトマトを入れ、緑色が足りないと思って、緑の葉っぱを入れて、これが果たして栄養価のあるお弁当なのかと感じているところです。ですから、管理栄養士さんが立てた献立の給食を成長盛りの子供たちに毎日提供してもらえれば親としてはありがたいと思いますし、地域によるのかもしれませんが、朝晩ちゃんと食べていない子供がいて、昼食が栄養源になっている子供もいるかもしれないので、このことも考えて給食実施を望むものです。</p>
会長	<p>そもそも、給食はただ食べればよいというものではなく、当初の給食の課題が、食に対する正しい理解、あるいは学校給食を活用した食に関する指導の実施をしていくという部分がある中で、果たして選択給食がいいのか、お弁当がいいのか、給食がいいのかというようなことも考えていかなければならない議題かと思います。</p>
委員	<p>小学校では食育ということが重要視されておりまして、都南の給食センターの栄養士さんが定期的に学校を訪問し学年ごとに、給食についての話をさせていただいて、いろいろな情報を提供していただき、食育という点から、効果があり非常にありがたいなと思っています。そのことから考えて、当然都南地区の中学校は似たようなことを実施していると思いますが、やはり中学校で同じような形で継続される食育というのは、教育の面から考えても重要ではないかと思います。</p>
会長	<p>学校給食法の方にも、栄養教諭の職務としては、給食時間における食に関する指導と、教科等における食に対する指導というのがあるわけですから、給食時間における指導というのを中学校の方でもしていかなければならないというような問題はあるのかと思います。</p>
委員	<p>私は学校の栄養士として出席させていただいているのですが、毎月学校給食に関する栄養職員が参加する会議がございまして、1回目の懇話会を受け、栄養士会の会員で協議を行いました。まとめますと、先ほど、佐藤委員からのお話がありましたように、食育というのは我々の職務としましては、進めていきたいという考えでして、もちろん自校給食のような望ましい形の給食を実施できればと思っています。ただし、経費やセンター方式などさまざまな面もありますが、我々の立場としましては、自校給食または、センター給食でみんな同じような給食を食べて、食育の観点からも成長を望みたいという意見にまとまりましたので御報告いたします。</p>
会長	<p>中学校の生徒には食に関する指導が必要だという観点からも、給食が望ましいのではないかという意見でした。</p>
委員	<p>調理員の立場から言わせていただきたいのですが、私は就職してからなぜ私は給食を作っているのだろうかと思っています。別に、お昼はご飯を作らなくても親が作ってくればよいなと思っていました。</p>

	<p>学校長の方々にもその話をすると、学校にご飯を作ってくれる大人がいるから、安心していただけるのだと、歴代の校長先生はおっしゃいます。そうでないと、ただご飯を食べるだけでいいのなら、どこかで買って来た方が安いですよ。しかし、なぜいるのだろうと何回も問われます。コストを考えると500円くらいのお弁当を毎日供給できるくらいの能力は会社にはあると思いますけども、なぜ私たちが学校で調理をしているのかと自問自答しております。だから、どうしてもこだわりたいのは、給食はなんのためにあるのかということを最初に議論し、それから、やはりエネルギーためには安い方がいいとか、教育のためにはお金がかかってもいいからこうした方がいいというのを議論するべきであると思います。というのは、我々調理員の人件費を1食あたりに換算すると500円くらいかかっているようでして、提供するだけであれば、コンビニなどで作れば、ただで提供できます。でもなぜ給食をやっているのかということなのです。こんなこと言うと市内の調理員さんに、お前はなにを言っているのだと、言われそうですけれども。なんで給食があるのかということをしっかり考えなければいけないと思っております。この部分をみなさんに考慮いただければと思います。</p>
会長	<p>今年、6月27日の市議会の決議では、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであるということをご前提にして中学校の給食の在り方についてどうお考えになるかということをごここで御意見を述べていただければなと思っております。</p> <p>まずは、給食が提供される方式という意見が多いようですが、その他の御意見をお持ちの方はいらっしゃらないでしょうか。</p>
委員	<p>単独校のことだけで申し訳ありませんが、やはり給食を作っている人たちの顔が分かることで、子供たちが手を振ってくれたり、おいしかったよと言ってくれたり、安心を提供できているのかと思っております。ですから、先ほどお母さんが作っているお弁当は果たしていいのかなと、おっしゃっていましたが、それでいいのです。しっかりとした管理のもとで提供されているというお墨付きがあるだけです。そのためにいると思うので、安心はお金では買えないと思っております。</p>
会長	<p>単独調理場では、子供たちが調理員と一緒に給食を食べる機会を設けたり、あるいは調理員さんに感謝の手紙を書いたりすることで、感謝の心を育てたり、あるいはキャリア教育という面からも、調理員さんたちの仕事は大いに役立っているかと思っております。学校給食研究会としてはそのように捉えておりました。</p>
委員	<p>うちの子供は中学校に行っていて、ランチボックスを食べています。子供にランチボックスはおいしくないのかと聞いたところ、おいしいよと答えました。今回のアンケートの中においしくないという声</p>

	<p>も多いかと思いますが、それは自分の好みに合わない、自分のお母さんが作ってくれた馴染みの味ではないから、おいしくないと言うのであって、決してまずいのではないと思います。ですから、このアンケートの数字だけを見るのではなく、いろいろな観点から見なければいけないなと思います。また、皆さんが言ったとおり、バランスのとれた食事を家庭で作ろうとしたら、本当に大変です。やはりセンターにするためにはアレルギーだとか様々な課題もあるかと思いますが、お弁当ではない給食はありがたいと思います。今の世の中、お母さんが料理ができるとは限りません。お母さんが料理下手だから、お金を渡しているような家庭もあるかもしれません。そういう時代になっていますので、昔と比べたり、今現在こうだからと進められない現状もあるのかと思います。</p>
委員	<p>資料1の平成13年のアンケートの際には、食育だとか、給食ありきではないですが、そういった議論はされなかったのでしょうか。皆さんの共通した認識としては給食がいいとなっている中で、17年前はこのような議論はなかったのでしょうか。</p>
事務局 遠藤係長	<p>食に関する指導、食育に関して、課題等あるということは議論されており、食育の部分に関して言いますと、市の食育をどう進めていく必要があるのかという御意見もその当時いただいており、教員の負担が大きくなるようにという御意見もありました。基本的な学びに関することは、学校と家庭と区別なく指導をやっていくことが重要であるという意見もいただいており、先ほども御意見をいただきましたが、小学校の食育に比べて、中学校の食育が進んでいないという御指摘もいただきました。これに関しては、提供方式の違いが障害になっているのではないかと御意見をいただいたところでございます。</p>
委員	<p>当然これを受け、平成20年から選択制に踏み切った理由があると思いますが、なにか明確なものはおありでしょうか。</p>
事務局 遠藤係長	<p>前回の資料7として、市立中学校給食実施基本計画をお渡ししていますが、こちらが検討を重ね、御意見をいただいた上で、市で定めた計画でございます。3ページの実施に当たっての資金的考え方の中で望ましい食習慣の育成の必要性についてのほか、「食」に関する自己管理能力の育成の必要性についてなども踏まえながら、選択制給食が選択されたということでございます。</p>
委員	<p>当時のことは分かりませんが、全国的に盛岡市が取り残されたような、学校給食を実施していない学校があるというごく少数の自治体に分類されているようです。意見として言いつらいですけれども、県としての指導はなかったのでしょうか。ここまで数字が低いところを見ますと、完全給食に踏み切らせるべきではなかったのでしょうか。</p>

委員	<p>県としましても、国としましても、平成28年から32年の間の第三次の食育推進計画というものがあまして、中学校における学校給食の実施率が目標になっております。26年度は87.2%だったものを、28年度は91%で、32年度は90%を目標に給食を実施できるようにするというのが国の計画です。皆さんの御存じのとおり、学校給食は市町村の主体で行うものでございまして、県の指導としましては衛生面等についてでございます。盛岡市さんの方では選択制給食を導入しながら実施しているところと伺っております。私が1つ気になるのは、14ページのところの業者が少なくなっているということです。皆さまから、食育という大事な観点でございますし、生活習慣病の予防にとっても大切です。私の子どもの頃はそんなことはなかったけれども、給食は充実させていかなければならないと思います。盛岡市の事情もございまして、計画的なものとしていかなければならないかと思っております。</p>
会長	<p>盛岡市の方でも第三次、市の食育推進計画が2018年度から2022年度までありまして、その議論的な方向性として小中学生の健全な食習慣の形成が出ておりますし、目標の8には、小中学校の給食における県産食材割合の増加というのが示されています。</p>
委員	<p>私は17年前にも委員だったのですが、その際に全面に出ていた部分として、選択制方式はAランチ・Bランチの2つのメニューから選べるというものだと思えました。</p>
事務局 遠藤係長	<p>最初は1種類の献立でございます。選択制給食はお弁当か給食かを選べるという意味で開始しました。その後、利用率を上昇させる方策として、主菜部分の献立を2種類に増やし提供していた時期がありました。その時期を経て、肉と魚の主菜にしますと、肉の方に申込みが偏るという問題から、給食費の均衡を保つのが困難になるという問題もあり、現在は1種類の提供とさせていただきます。</p>
会長	<p>ランチボックスの業者が1社のみということで、3校はミルク給食という実態です。先ほどのお話にもありまして、完全給食の実施の形態がその他に分類されていることから、委員の皆様からは、全員に同じ給食が提供される方式がいいのではないかという御意見が多数出てまいりました。そうした場合には、実施の方式をどうしていくかという課題があり、事務局からは、単独調理場方式、センター方式、自由選択方式というような説明がありましたが、委員の皆様から御意見はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>望ましいのはもちろん単独調理場方式だと思います。やはり生徒の顔が見える方が、誰が食べているかわからないより調理員さんたちにとってもいいと思います。食べる側も作る側も食育という観点では、単独調理場方式がいいと思います。ただし、それができない予算的な</p>



	<p>ものがあると思います。センター方式になるのであれば、配膳時間に時間がとられて食育の時間の割合が増えてしまうとしたら、配膳時間を食育時間として、学校のカリキュラムの中に入れることで、授業の一環も兼ねることができるのかなと思います。そういうやり方をしながら給食実施の方向にいければなと考えました。</p>
会長	<p>都南地区の小学校の方では、給食センターへ児童が見学に行くということはあるでしょうか。</p>
委員	<p>本校では、予定しておりませんが、他の学校ではあると思います。</p>
会長	<p>ここでは、自由な意見でよろしいと思いますので、御意見をお聞かせいただければと思います。</p>
委員	<p>巻堀小学校は、センターに見学に行きます。給食センターの従事員が感謝の手紙ももらったことがあるということも聞いております。私の考えは、食材は調理されて食べるところまで見えるのがいいと思いますけれども、子供が減っていく中で、単独調理場方式の整備は大変であると思いますので、センター方式でもいいかと思ひます。</p>
会長	<p>我が家の息子の話ですが、中学2年の長男が小学校の時に、1年間仙北小学校に通っていたことがありまして、そこは単独料理場方式で、温かくて作りたてでおいしい給食をいただいております。2年生になり、向中野小学校に転校すると、そこではセンター方式でした。長男は食べるのが大好きで、仙北小学校の給食はすごくおいしくて大好きだったのですが。センター方式になると、なにかが違ふと小さいなりに感じて2年生になったばかりは、納得がいかないようで苦情がありました。しかし、作りたてか、センターで作ってきたのかの違いであつて、栄養のバランスや献立というのは一緒であるという話をして、子供が大きくなるために必要な献立を考へてもらった給食なのだ、少し見方を変えて献立表を見て、その中で何が今月おいしかったかと聞いていく中で、だんだん好きなメニューができてきました。6年間給食を楽しみに過ごしました。</p> <p>どこで作られていても一緒だと思ひます。食べる姿勢というのを育てたいなという思ひがすごくありまして、家庭のご飯でも、好き嫌い別にメニューは考へないと思ひます。家族全員が箸をつけられるようなものをお母さんは考へて作っていると思ひますので、みんなで出されたものをありがたくいただくという精神を身に付けてほしいというのが、私が食育に望んでいることです。もちろん受け付けない食材もあると思ひますが、それは仕方ないとして、なんとか工夫したら食べられるものは食べるような子供たちになつてほしいというのが私の食育の考へです。私はどちらでもいいと思ひますし、選択制給食ではなくてみんなで同じものを食べたいという考へがあります。</p>

会長	<p>それでは、単独調理場という御意見もありましたし、あるいは共同調理場ということもありました。どちらにしても子供たちの食に関する正しい理解を深めていくような給食の提供をしてきたいというようなお考えになるのかなと思いました。ありがとうございます。</p> <p>皆様からの様々な御意見をいただきまして、教育委員会の方でも参考にさせていただけたらと思います。</p> <p>それでは(3)のその他ですけれども、皆様から何かありませんか。 →意見なし</p> <p>それでは、本日予定されておりました協議事項はすべて終了いたしました。皆様、御協力いただき、大変ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。</p>
----	--

### 3 その他 事務局から次回の開催予定を11月29日と確認

本日の資料等に改めて質問等がある場合には事務局で対応し、別途全員に対して質問と回答を配布する旨を説明

### 4 閉 会